

組合 NEWS

Faculty and Staff Union of Kanazawa University
金沢大学教職員組合執行委員会
金沢市角間町
Tel.076-262-6009 (FAX同じ) / 角間内線2105
E-mail kanazawa@ku-union.org
ホ-ムペ-ジ http://www.ku-union.org/

2023年10月2日

通巻1310号

この号の内容

- 2023年度 役員紹介
- 所信表明
- 全大教新聞 転載

2023年度 執行委員を紹介します

執行委員長	早津 裕貴	角間北支部 (法学系)	教員
副執行委員長	岩崎 宏	理工学系支部 (数物科学系)	教員
書記長	土屋 明広	角間北支部 (学校教育系)	教員
会計委員	岡本 博之	医学系四分会 (保健学系)	教員
執行委員	石島 達夫	理工学系支部 (電子情報通信学系)	教員
執行委員	大河原 恭介	理工学系支部 (生命理工学系)	教員
執行委員	久保 豊	角間北支部 (国際学系)	教員
執行委員	丸本 由美子	角間北支部 (法学系)	教員

よろしくお願ひします!

所信
表明

執行委員長
早津 裕貴 (法学系)



たくさんの「声」から運動をつくる

昨年の書記長に引き続き、執行委員長に選出されました法学系教員の早津と申します。私自身の専門分野 (労働法) を少しでも皆さまの労働環境改善に活かすことができましたら幸いです。

執行委員会での所属も3期連続となりましたが、その間、可能な限り皆さんの「声」に耳を傾け、各現場の課題を理解したうえで、いかに当局と交渉・協議を行っていくかを意識して活動を行ってま

いりました。こういった中で身に染みて分かってきましたのは、多様な立場・働き方・職場で従事するスタッフがいる中で、様々な要因が絡まり合って労働問題が生じており、一部のアクターが努力するだけでは抜本的改善に至ることが難しいという現実です。

本組合の構成員の多くは教員が占めておりますが、私自身も含め、伝え聞いた事柄のみを基に活動するだけでは、やは

り壁にぶち当たることが多くあります。

また、組合の原動力は「数」であり、現状の組織状況では、いくら筋の通っている内容でも「所詮、ごく一部の人間が言っていること」で一蹴される懸念も常に払拭できません。教員の仲間の更なる拡大はもとより、事務・技術系スタッフ、医療・看護系スタッフなど様々な方々とともに、フラットな立場で問題意識を共

有し、当事者としての「声」を上げていくことが今後より一層重要な課題になってくるかと存じます。

私自身、若輩であり、様々に思い悩むこともございますが、引き続き多くの「声」をお寄せいただきますとともに、組合活動へのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



所信
表明

書記長
土屋 明広 (学校教育系)

働きがいのある人間らしい職場をつくる

学校教育系の土屋と申します。本会執行部の任に就くのは数年ぶりですが、執行委員会の開催方法が激変（ワークライフバランスに配慮した開催時間と回数）したことに隔世の感を覚える一方で、組合の存在価値は変わらないままであることを実感しています。

現在、多くの大学が各自の「強み」を作って世界中の研究機関を相手に戦うように迫られています。また、教育の「質」保障（高度化）も求められています。大学の社会的使命が研究と教育であることを否定する人はいないと思います。しかし様々な新しい取り組みは一意義あるものであったとしても一教職員の仕事を加速度的に増大させていく可能性があります。

す。人は忙しすぎると精神的に追い込まれていき、ひいては職場全体から活気が失われていきます。

金沢大学は4,000名を超える教職員が一緒に乗る船であり、現在荒れ狂う海を航海しているところです。その航海を座礁させることなく乗り切るためには、国連SDGs目標8（経済成長と雇用）が掲げる「働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）」の視点に立って、乗組員各人の意見が尊重され、苦境が見過ごされることのない職場づくりが重要だと考えます。そしてその実現には皆さまざまのご協力が不可欠です。どうぞよろしくお願いいたします。



声

意見・要望を
お寄せください

- 職場での困りごとや疑問、
- 働きやすい職場づくりのための要望、
- 組合への意見や要望等、
自由に書いてください。



↑ここから



要望内容 要ログイン：短縮 URL (<http://bit.ly/3Y8FdgU>)
「単組参加型」の活動へ～単組から意見を募集しました▶



文科省 会見

要望・意見交換

2023 7/10 Mon

予算の充実、教育研究条件の改善、大学自治の尊重、運営費交付金等について



文部科学省からは各担当者が出席

全大教は7月10日に、毎年実施している概要要望前の時期の文科省会見を行いました。

私たちの要望を政府予算案に反映させるべく、文科省が概要要求の原案を作成する以前の段階で会見を行うことになっております。また、単組からの「生の声」を文科省に届けることで、より現場の実態に即した予算案となることも目指しております。今回も単組から切実な声が多数寄せられました。特に今回は、物価高による予算逼迫を何とかしてほしいという声が多かったです。そうした声を背景に、会見に臨みました。会見では、

- ① 地方大学の振興のための予算措置の充実、
- ② 研究者の安定的ポストの増加と教育研究条件の改善、
- ③ 大学自治を尊重した自律的・自主的な大学運営の確保、
- ④ 国立大学法人運営費交付金の算定方法の抜本的に見直し

① 地方大学の振興について
という順で要望を行い、文科省の担当者と率直な意見交換を行いました。

② 研究者の安定的ポスト
に関連して、理研での問題などで広く知られるようになってきている研究者雇止め問題をとり上げ、4月以降に実際に雇止めとなった

また、「地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ」などで地方大学に予算を振り向ける方向性が示されているが、予算を増やしても「政府の意向通りの改革」に使うことしか認めないのであればやる気が削がれるので、もっと現場を信頼して裁量を増やし、現場の工夫を引き出すような制度とすることを求めました。

③ 大学自治を尊重した大学運営については、昨年度末に日本私大教連・公大連と共同で発表した「学校教育法改正案」を紹介し、一方的な上意下達の統治システムでなく、権力の相互牽制に基づく民主的かつ安定的な仕組みを検討するよう求めました。

研究者がどれくらいいるのかといった実態調査を引き続き進めることを求めました。また、調査結果が出たら提供するように求めました。

④ 運営費交付金については、当面、現下の物価高に対応するため交付金の増額を求めるとともに、2004年段階の交付金を基準として削減していく仕組みの抜本的な見直しを求めました。

全体を通して、文科省側も私たちの主張を基本的に認めてつづ、対財務省・対国会などの現実を踏まえて対処していく姿勢は崩れませんでした。文科省とのやりとりは、議事要旨を作成し、文科省側の確認を経て、みなさまにお知らせいたします。
(教文部長 山口裕之)

労働問題に関する情報、大学をめぐる動き、金沢大学教職員組合の活動などを配信しています。



職場を好くしたいという「想い」や「声」がたくさん集まると、職場を改善する大きな力になります。組合に加入されていない方は、ぜひ、加入してください。

2023

人事院勧告

国公立大学、国公立高専、
大学共同利用機関の



労働条件の
改善にむけて
積極的な交渉を

人事院は8月7日、初任給を大卒11,000円、高卒12,000円(若年層に重点を置き、そこから改定率を適減させる形。50歳代で1,000円程度を引上げ、国家公務員の期末・勤勉手当をそれぞれ0.05%分引上げてボーナスを年4.4カ月から4.5カ月とする勧告を行いました。

9年)以来と思われま。期末手当がわずかながら引き上げとなりましたが、勤勉手当も同じく引き上げとなり評価配分に偏重していることには変わりはありません。

今回の勧告ではテレワークを中心とした働き方をすすめる職員(月10日以上)について新たに在宅勤務等手当(月額3,000円)が設けられました。すでに在宅勤務手当などが設けられている大学・高専がありますが、国家公務員は通勤手当との兼ね合いについても言及があり、テレワーク対象者の通勤手当を減じる扱いとなっています。アフターコロナに社会が進んでいます。次の感染症拡大や災害への対応として各大学等の実情に沿った勤務形態と手当のあり方について検討を妨げるものではありません。

今年度から国家公務員は定年を段階的に引き上げます。国立大学等でも同様の対応が始まっていますが、当面年次ごとの定年後は65歳までの継続雇用が義務であり、民間企業の90%以上で再雇用等はフルタイム勤務となっているので、原則として再雇用者全員がフルタイム勤務となるよう取り組みましよう。(賃労部長 宮本政明)

国立大学等(国公立大学、国立高専、大学共同利用機関)では、国家公務員の給与水準は賃金決定の考慮事項の一つとされています。国立大学等の事務・技術職員給与の水準は国家公務員の水準に届かず、地域手当も低く抑えられている大学(事業所)もあります。

引き続き、対国家公務員比ラスパイルズ指数の改善や私立大学との差の解消、生活に直接かわるエネルギー価格や生活物

価の高騰を踏まえ、給与およびボーナスの引き上げ、労働条件全般の改善を目指して交渉に取り組みましよう。



お申し込み

学内便等にて組合事務所までお送りください。

又はメール

kanazawa@ku-union.org

ご記入いただいた事項は「個人情報保護に関する法律」を遵守し、組合活動情報のご提供、組合徴収などの事務のために適切な取り扱いをいたします。

連絡先

金沢大学教職員組合

金沢市角間町
TEL076-262-6009 (FAX同じ)
内線(角間)2105
http://www.ku-union.org/

金沢大学教職員組合 加入申込書

申込日 年 月 日

ふりがな 氏名 (男・女) 生年月日 年 月

日 所属部局 職種 職名

電話番号

E-mail (職場 個人用)

組合費 チェックオフ(賃金控除) 通常はこちら】8桁の職員番号

チェックオフ以外の方法を希望 ()

住所